学校番号	3005

令和８年度　工業科（建築科）

教科	工業	科目	建築構造	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「建築構造」（実教出版）						
副教材等	「図説建築資料集」（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

建築空間において安全・快適に過ごせるように、建築物の構造がどのようになりたっているか、どのように発達してきたのかを学びます。建築物を支える構造のしくみを理解し、設計や施工管理との関係を理解することが大切です。

2　学習の到達目標

・各種の建築物の構造形式や構成材料の概略を理解し、関連する知識・技術を身につける。
・各構造を構成する部材名称や部材の働き、構成方法について、思考・判断できる。
・建築構造にについて自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	建築物の構造や建築材料に関する基本的な手法を理解し、建築物の構造や建築材料の意義や役割、基本的な知識を取得している。	建築物の構造や建築材料に関する基礎的な知識や技術の習得をもとに、建築物の設計や施工をする際に生じる諸問題の解決を目指して自ら思考し、判断し、創意工夫する能力を身につけるとともに、その成果を適切に表現できる。	建築物の構造や建築材料に興味・関心をもち、これらに関する基礎的な知識や技術の習得に意欲をもって取り組むとともに、建築物の設計や施工に活用しようとする態度を身につけている。

上に示す観点に基づいて学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じてそれぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	建築構造のあらまし	建築構造の歴史的発達 建築構造のなりたち 建築構造の分類 建築物に働く力 関連する法規と基準	a:建築物の構造形式における基礎的な知識を身につけている。 b:構造物に働く力や法規を理解し、自らの考えで判断できる。 c:身近にある建築物を注意深く観察し、考察に活用しようとしている。	定期考査	演習 提出ノート	学習状況の観察 発表・発言
	木構造	構造の特徴と構造形式 木材 木材の接合 基礎 軸組 小屋組 床組 階段 外部仕上げ 内部仕上げ 木造枠組壁工法	a:構造形式や構成部材に関する知識や技術について関心をもっている。 b:木構造に用いられる建築材料を適切に判断、選択できる能力を身につける。 c:構造形式や構成部材に関する知識や技術について関心をもち、その習得にむけて意欲的に取り組んでいる。	定期考査	演習 提出ノート	学習状況の観察 発表・発言
後期	鉄筋コンクリート構造	構造の特徴と構造形式 鉄筋 コンクリート 基礎 躯体 仕上げ 壁式構造 プレストレストコンクリート構造	a:構造形式や構成部材に関する知識や技術について関心をもっている。 b:鉄筋コンクリート構造に用いられる建築材料を適切に判断、選択できる能力を身につける。 c:構造形式や構成部材に関する知識や技術について関心をもち、その習得にむけて意欲的に取り組んでいる。	定期考査	演習 提出ノート	学習状況の観察 発表・発言

	鋼構造	構造の特徴と構造形式 鋼と鋼材 鋼材の接合 基礎 骨組 仕上げ 軽量鋼構造と鋼管構造 鉄骨鉄筋コンクリート構造	a:構造形式や構成部材に関する知識や技術について関心をもっている。 b:鋼構造に用いられる建築材料を適切に判断、選択できる能力を身につける。 c:構造形式や構成部材に関する知識や技術について関心をもち、その習得にむけて意欲的に取り組んでいる。	定期考査	演習 提出ノート	学習状況の観察 発表・発言

表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度